

黒須田小学校 道徳教育全体計画

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・学校教育法施行規則
- ・横浜教育ビジョン2030
- ・横浜市立学校カリキュラム・マネジメント要領

学校教育目標

「えがおいっぱい げんきいっぱい ひらめきいっぱい かがやく子ども」

- 確かな学力により、主体的に考え、よりよく解決する力を育みます。【知】
- 公共心や規範意識、礼儀を大切にする豊かな心を育みます。【徳】
- 健やかでたくましく、しなやかな体を育みます。【体】
- 地域や社会のために他者と協働する力を育みます。【公】
- 多様性を尊重し共生する力を育みます。【開】

異校種との連携

- ・保育園、幼稚園との連携
- ・中学校との連携

子どもの実態と課題

- ・素直で明るく元気である。
- ・問題に主体的に関わりとうとする気持ちがそれほど高くない。
- ・言葉によって人とのつながりをつくる力が未熟な子が見られる。

教師、家庭、地域の願い

- ・自らを律する態度と人を思いやるやさしさをもってほしい。

教育課程全体を通じて教科等横断的に育成を目指す「資質・能力」

<対話を大切にし、主体的に課題解決する力>

- 1 他者を理解する態度 自己を理解する姿勢
- 2 相手の思いを受け止める力
- 3 自らを律する態度 人を思いやる優しさ
- 4 多様性を尊重する態度

道徳教育の重点目標

B 主として人との関わりに関すること
自己を人との関わりにおいて捉え、望ましい人間関係の構築を図る。

C 主として集団や社会との関わりに関すること
自己を様々な社会集団や郷土、国家、国際社会との関わりにおいて捉え、国際社会と向きあうことが求められている我が国に生きる日本人としての自覚に立ち、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な道徳性を養う。

学年重点目標			
	低学年（第1・2学年）	中学年（第3・4学年）	高学年（第5・6学年）
B	友達やまわりの人々と仲良くし助け合う。	相手のことを理解し、信頼し、助け合う。	互いに信頼し、絆を深め、励まし合い、助け合う。
C	自分の好き嫌いとらわれないで接する。	誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接する。	誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努める。

各教科	
国語	・人との関わりの中で伝え合う力を高める。 ・思考力、想像力を養い、言語感覚を豊かにする。 ・我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
社会	・社会生活について理解し、地域社会に対する誇りと愛情、我が国の国土と歴史に対する愛情を涵養する。 ・公民としての資質・能力の基礎を養う。
算数	・日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道立てて考察し、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を育てる。
理科	・体験活動を通して自然を愛する心情を育てる。 ・見通しをもって観察、実験を行ったり、問題解決の力を育てたりする。
生活	・自然との関わりに関心をもつ。 ・自分自身について考えさせる。
音楽	・音楽を愛する心情と音楽に対する感性を育む。 ・音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。
図工	・つくりだす喜びを味わう。 ・感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。
家庭	・生活をよりよくしようと工夫する。 ・家庭生活を大切にする心情を育む。
体育	・粘り強く取り組む、気持ちのよい挨拶をする、仲間と協力をする、勝敗を受け入れる、フェアなプレイを大切にする、仲間の考えや取組を理解するなどの態度を養う。
外国語	・言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

特別の教科 道徳科

- ・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲、と態度を育てる。
- ・児童一人ひとりが道徳的価値を理解し、それを自分との関わりでとらえて自己を見つめ、主体的に道徳的実践力を身に付けていく時間として展開する。

特別活動	
学級活動	望ましい人間関係の形成やよりよい生活づくりに参画する態度を育てる。
児童会活動	異年齢によるよりよい人間関係の形成やよりよい生活づくりに参画する態度を育てる。
学校行事	触れ合いや文化や芸術に親しむ体験を通して、よりよい人間関係の形成、自律的態度、心身の健康、協力、責任、公德心、勤労、社会福祉などに関わる道徳性を養う。

『横浜の時間』

- よりよく課題を解決する態度を養う。
- 自己の生き方を考える。
- 他者と協調して生活しようとする態度を育てる。

自分づくり（キャリア）教育

- 他者との関わりの中で一人ひとりの自己有用感を高める。
- 働くことの意義を考えられる場を設定する。

人権教育

- OYP アセスメントを活用し、あたたかみ学級・学校風土を育む。
- 対話を大切にした集団づくりに取り組む。

特別支援教育

- ユニバーサルデザインを積極的に取り入れた学習指導の工夫に努める。
- 可能な限り障害のある者となない者が共に学ぶ集団づくりを実現する。

家庭・地域との連携	学習環境の充実・整備
学校、家庭及び地域が連携し、それぞれがもつ教育機能を発揮することにより、豊かな人間性を育てる。	○教師と児童、児童相互が信頼関係を育む。
○公開授業、懇談会	○言語環境を整える。
○連携事業	○清潔で落ち着きのある環境の整備に努める。